

鹿屋体育大学体育学部の教育目標

●は一般目標、○は行動目標を示す。

鹿屋体育大学体育学部では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、以下のような知識・能力を修得させる。

- 国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための基礎的な知識及び豊かな教養を身につける。
 - 体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する。
- スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する実技力、科学的支援力及び表現力を身につける。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおいて必要とされる基礎的な実技力を獲得する。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおいて必要とされる基礎的な科学的支援力及び表現力を獲得する。
- スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける。
 - 発育段階や競技スポーツ、生涯スポーツ、学校体育などの場面で求められる体系的な実技指導力（ティーチング・コーチング力）を獲得する。
 - 発育段階や競技スポーツ、生涯スポーツ、学校体育などの場面で求められる体系的な事業運営力（マネジメント力）を獲得する。
- スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する課題について、体育学の知識を総合的に活用し、説明することができる。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する課題について体育学の知識を用いて応用・分析し、説明することができる。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する課題について体育学の知識を統合し、説明することができる。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する課題について体育学の知識を用いて評価し、説明することができる。
- スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関心をもち、主体的かつ計画的に、課題解決に向かって取り組む意志をもつ。
 - 分野の特性に応じて、主体的、計画的及び継続的に探究する課題に取り組む意志をもつ。
 - フェアプレイの精神や礼節を重んじ、仲間と協力して課題解決に取り組む意志をもつ。
- スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおけるリーダーシップとコミュニケーション能力をもつとともに、社会の一員として適切に振る舞う態度を身につける。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的なリーダーとして求められる資質の向上に意欲的に取り組む意志をもつ。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける学術・文化の発展のために、事象の理や相互の関わり、その変化について関心を向け、人と環境の調和を図る意志をもつ。
 - スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおいて、国内はもとより国際社会で活躍できるように、外国語の習得に対し、意欲的に取り組む。
 - 相手や状況に応じて、自己の考え方を論理的に伝え、合意形成する意志をもつ。